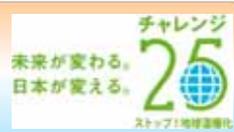


チャレンジ25地域づくり事業 ～「環境未来都市」を見据えた低炭素社会基盤の集中整備～



「2020年25%削減」へチャレンジします。

地球温暖化という人類の生存に関わる脅威に立ち向かうため、我が国は2020年に温室効果ガス25%削減という目標を掲げています。

地域づくりは有効な手段です。

廃熱利用技術などの低炭素化を進める技術も、みんなが使わなければ宝の持ち腐れです。温室効果ガスの削減に向けては、地域単位でさまざまな技術が人々に利用される仕組み（ビジネスモデル）が構築されることが必要です。

モデル的取組を支援し、全国展開を目指します。

そのため、政府としても、全国に対して「モデル」となるような仕組みの構築を進め、その全国波及を目指します。新成長戦略に盛り込まれている「環境未来都市」もこうした取組の一環です。

地域づくりを通じて、温室効果ガス25%削減にチャレンジするのが、「チャレンジ25地域づくり事業」です。



チャレンジ25 地域づくり事業 ～「環境未来都市」を見据えた低炭素社会基盤の集中整備～

【チャレンジ25 地域づくり事業では、CO₂25%削減に効果的な先進的対策などを実証します】

実証事業・・・

- ・技術は確立されているが、効果検証がなされていない先進的対策を、事業性・採算性・波及性等を検証する事業
- ・地域特性に応じて複数の技術を組み合わせて行う対策など、他地域へのモデルとなるべき事業
(委託対象は、民間事業者または地方公共団体で、全国10箇所程度で実施予定)

都市未利用熱等の活用

～都市で未利用の廃熱を輸送して冷暖房に活用します～

- ・清掃工場等の廃熱や温排水
→先進的な熱電供給システムの構築



低炭素型交通システムの構築

～CO₂を出さない交通で地域づくりを進めます～

- ・燃料電池車・電気自動車(バス等)
- ・内航船舶のアイドリング・ストップ



大規模駅周辺等の低炭素化

～街の中心からCO₂を25%カットして周辺へも波及させます～

- ・大規模太陽光
- ・燃料電池 など
→大規模駅周辺への集中導入



バイオマスエネルギー等の活用

～地域の未利用資源を最大限に活用して低炭素化を進めます～

- ・間伐材等を活用した熱電供給システム
- ・下水汚泥等由来メタンを活用した熱電供給システム



チャレンジ25地域づくり事業 ～「環境未来都市」を見据えた低炭素社会基盤の集中整備～

【チャレンジ25地域づくり事業では、地域の「核」となるような「新しい低炭素社会基盤」の整備に対して補助をします】

補助事業・・・

・すでに技術は確立され、効果検証はなされているものの、コスト等の課題があり、民間ベースでは導入が進まない事業（補助対象は民間事業者(補助率1/2)、全国10箇所程度で実施予定)

新しい中心市街地の形成

～にぎわいのある街の創出にあわせて、地域の低炭素化を促進します～

- ・街路灯LED化
- ・公共交通機関の利用促進
- 商店街等の再生・活性化と併せて推進
(関係省庁の事業とセットで実施)



熱供給システム等の構築

～地域冷暖房等の新しい社会基盤を通じて低炭素地域づくりを進めます～

- ・熱供給システムの構築
- ・地域冷暖房システムの構築

出典：(株)エネルギーアドバンス「幕張地域冷暖房センター」



業務用施設等のCO2削減

～まちの拠点を徹底的に低炭素化し、地域づくりの「核」を目指します～

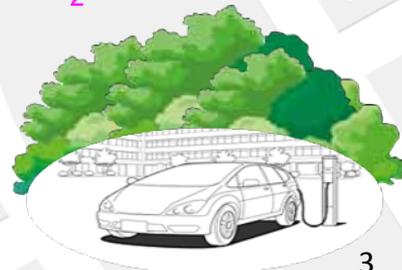
- ・井戸水を利用したヒートポンプ
- ・地中熱を利用したヒートポンプなどの導入



自然公園内充電インフラ等の整備

～電気自動車を活用してCO₂ゼロな旅を提供します～

充電インフラ等電気自動車利用システムを整備(全国で約2000基)



チャレンジ25 地域づくり事業 ～「環境未来都市」を見据えた低炭素社会基盤の集中整備～

【チャレンジ25地域づくり事業では、以下のような効果が得られます】

温室効果ガスの削減効果は、
年間70,000t-CO₂



これくらいの効果
に換算できます。



スギの木に換算すると約500
万本分（東京都世田谷区の面積
分のスギ林に相当）



1世帯の年間排出量に換算する
と、約11,000世帯分

また、導入した機器を壊れるまで
使い続ければ、約91万t-CO₂
の削減効果が得られます。

これくらいの効果
に換算できます。



1トンのCO₂を
約5,500円で購入
したことになります。

この事業を実施すると、
約160億円の経済効果が得られます。

これくらいの効果
に換算できます。



約760人の新規雇用
を創出します。